

2016年4月1日～2022年5月31日の間に 当科において肺癌および食道癌の治療を受けられた方へ

—「食道癌患者における呼吸機能の術後変化について～肺癌患者との比較～」へご協力の
お願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 教授 千田益生

研究分担者 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 助教 堅山佳美

研究分担者 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 野澤康明

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

临床上、食道癌術後患者の多くに呼吸機能低下を認め、肺容量が減少する肺癌術後患者と同程度の呼吸機能低下を認める印象があります。肺活量や呼吸筋力が低下することにより体力や息切れが生じ、術後の生活に影響を及ぼす可能性があります。そこで、本研究の目的は、食道癌患者様と肺癌患者様における呼吸機能の術後変化を比較検討することで、食道癌術後患者様の呼吸機能低下の特徴を明確にすることを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

食道癌術後患者様の呼吸機能低下の特徴を明らかにすることにより術前および術後理学療法アプローチに役立てることができると期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年4月1日～2022年5月31日の間に岡山大学病院総合リハビリテーション部・総合リハビリテーション科において食道癌および肺癌の治療を受けられた方60名を研究対象とします。

2) 研究期間

2016年4月1日～2022年4月30日

3) 研究方法

2016年4月1日～2022年5月31日の間に岡山大学病院総合リハビリテーション部において肺癌および食道癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに呼吸機能検査等のデータを選び、食道癌患者様

および肺癌患者様の術前・術後の変化量を食道癌患者様と肺癌患者様との比較に関する分析を行い、呼吸機能低下の要因について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index (BMI)、既往歴、手術内容
- 呼吸機能検査
- 術後合併症

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後10年間、岡山大学病院総合リハビリテーション部・総合リハビリテーション科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年9月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合リハビリテーション部・総合リハビリテーション科

氏名：野澤康明

電話：086-235-7752（平日：8時30分～17時15分）